

2010年2月2日
東日本旅客鉄道株式会社

新型高速新幹線(E6系)量産先行車について

JR東日本では、東北新幹線用のE5系と併結して320km/hで営業運転可能な秋田新幹線用の新型車両(E6系)を製作することとしており、その量産先行車が2010年7月に落成する予定です。

E6系は2012年度末に最高速度300km/hで営業運転を開始し、2013年度末には最高速度320km/hで営業運転を開始する計画です。

1. 量産先行車の特徴 【別紙1】【別紙2】

- ・新幹線区間を320km/hで走行するために、E5系に導入したロングノーズタイプ先頭形状などの「環境性能の向上」、ブレーキ装置などの「走行性能の向上」および全車フルアクティブサスペンションなどの「快適性の向上」に関する新技術をE6系にも導入しています。また、在来線区間における急曲線等に対応する走行性能も備えています。
- ・E6系では、環境性能を確保し、バリアフリー設備を充実させるとともに、E3系の6両編成と同じ定員を確保するため7両編成としました。

2. エクステリアデザイン 【別紙3】

微気圧波を低減する性能が生み出したフォルムに、気品と大胆さを併せ持つ塗色を施しています。

- ・上部色「茜色(あかねいろ)」
- ・車体色「飛雲(ひうん)ホワイト」
- ・車体中央の色帯「アローシルバー」

3. インテリアデザイン 【別紙4】

「ゆとり」「やさしさ」「あなたの」をキーワードに「丁寧な^{こしら}えと^{あつら}え」をコンセプトとしてデザインしました。

<グリーン車>

- ・穏やかな落ち着いたきに満ちた空間で、安らぎの旅を楽しんでいただけるような室内としました。

<普通車>

- ・豊かに実った稲穂の中へ分け入る時の高揚感や自然の恵みを感じられる空間としました。

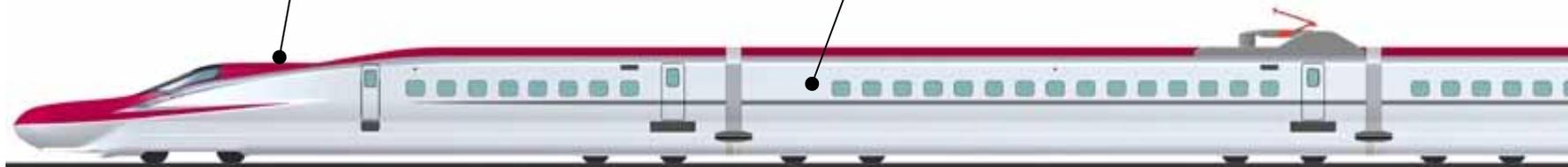
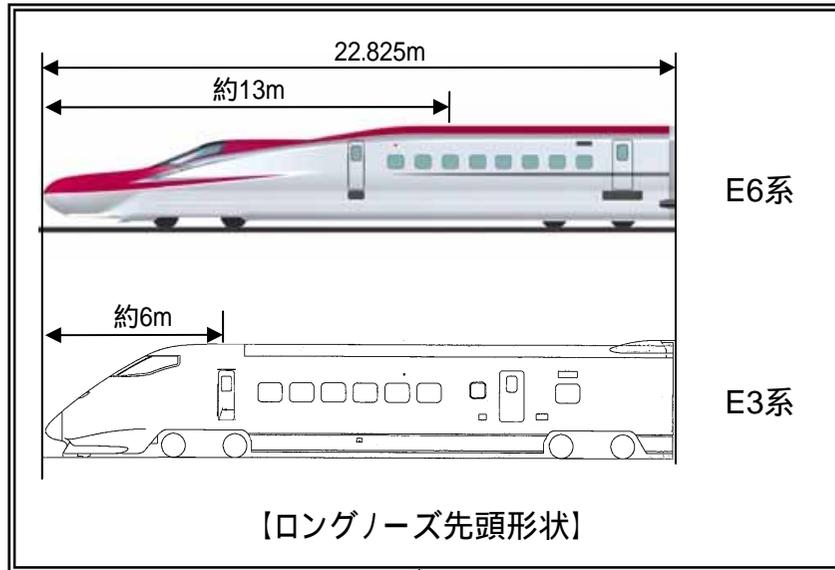
新型高速新幹線 (E6系) 量産先行車の概要

【別紙1】

	E6系量産先行車 	E3系(こまち) 
編成	7両(5M2T) 編成長 148.65m	6両(4M2T) 編成長 128.15m
定員	グリーン車:23名 普通車:315名	グリーン車:23名 普通車:315名
サービス	電源コンセント設置 グリーン車:全座席 普通車:窓側座席および車端部	-
	全車フルアクティブサスペンションを装備	先頭車両(11、16号車)フルアクティブサスペンション 中間車両(12~15号車)セミアクティブサスペンション
	車体傾斜装置(新幹線区間で最大1.5°傾斜)	-
営業最高速度	新幹線区間(東京~盛岡)320km/h 在来線区間(盛岡~秋田)130km/h	新幹線区間(東京~盛岡)275km/h 在来線区間(盛岡~秋田)130km/h
バリアフリー設備	改良型ハンドル形電動車いす対応多目的室	車いす対応多目的室
	改良型ハンドル形電動車いす対応大型洋式トイレ	車いす対応洋式トイレ
セキュリティ	非常通話装置(客室内およびトイレ内)	非常ブザー(客室内およびトイレ内)
	デッキ部防犯カメラ	-
シートピッチ	グリーン車:1160mm 普通車:980mm	グリーン車:1160mm 普通車:980mm(一部910mm)

新型高速新幹線 (E6系) 量産先行車の特徴

【別紙2】



環境性能
・ロングノーズタイプ先頭形状
・台車カバー/全周ホロ

快適性の向上
・全車フルアクティブサスペンション
・新幹線区間における車体傾斜

走行性能の向上と信頼性の確保
・主回路装置、ブレーキ装置

新型高速新幹線(E6系)量産先行車エクステリアイメージ

【別紙3】



新型高速新幹線(E6系)量産先行車インテリアイメージ



グリーン車客室イメージ



普通車客室イメージ